

雑 報

543.31: 553.661: 550.8 (521.41): 622.19

新潟県大倉鉱山褐鉄鉱床調査報告

標記鉱山の受託申請によつて鉱床調査を行つた結果の報告である。新潟県南魚沼郡東村字大倉にあつて、不二越鉱業株式会社により経営され、現在褐鉄鉱を採掘し、ほかに多量の磁硫鉄鉱を有し、またニッケルおよび銅鉱としても注目されている。

鉱床は蛇紋岩に伴つて、これと周辺第三紀礫岩との間附近に胚胎する主として不規則レンズ形の磁硫鉄鉱を主とする鉱体である。主な鉱体10数個あり、その中若干は著しい露天化作用を受けて、完全に褐鉄鉱床となつてお

り、これに伴つて磁硫鉄鉱中のニッケル分が抽出集積された結果、ニッケル鉱床として高品位部分も見出される。

本鉱山にはなお褐鉄鉱および磁硫鉄鉱発見の可能性は多い。報告書内容目次次の如し。

- 1 緒言
 - 2 鉱業権関係
 - 3 鉱山概況・位置・交通・運搬・沿革・現況
 - 4 地形および地質
 - 5 鉱床総説
 - 6 鉱床各説
 - 7 鉱石・品位・鉱量
 - 8 開発について
- 附図10葉

(堀越義一・徳蔵勝治)

553.94: 622.1

青森県津梅炭田調査報告 (補遺)

訂正

地質調査所月報第2巻第2号55頁

青森県津梅炭田調査報告の8. 炭質の項中

「純炭カロリー 8350Cal……菅原技官の報告によつて明かにされている」を削除し以下の文に改める。

炭質は下表に示す如く、一番層はあまり良好でないが二番層、三番層は良好である。なお二番層は弱粘結性を示すが、露頭炭でないものはおそらく三番層と共に粘結性炭であろうと思われる。

炭層名	水分	灰分	純炭カロリー	CEAC分類	粘結性	炭種
一番層	4 ~ 8	6 ~ 14	7500 ~ 8100	E ~ D	非 ~ 弱	亜瀝青炭
二番層	3 ~ 5	10 ~ 20	8200 ~ 8550	C ~ B	弱	瀝青炭
三番層	2	22	8550	B	"	"

{分析資料採取者 菅原技官
{分析者 燃料研究所

(昭和26年10月10日 清水 勇)